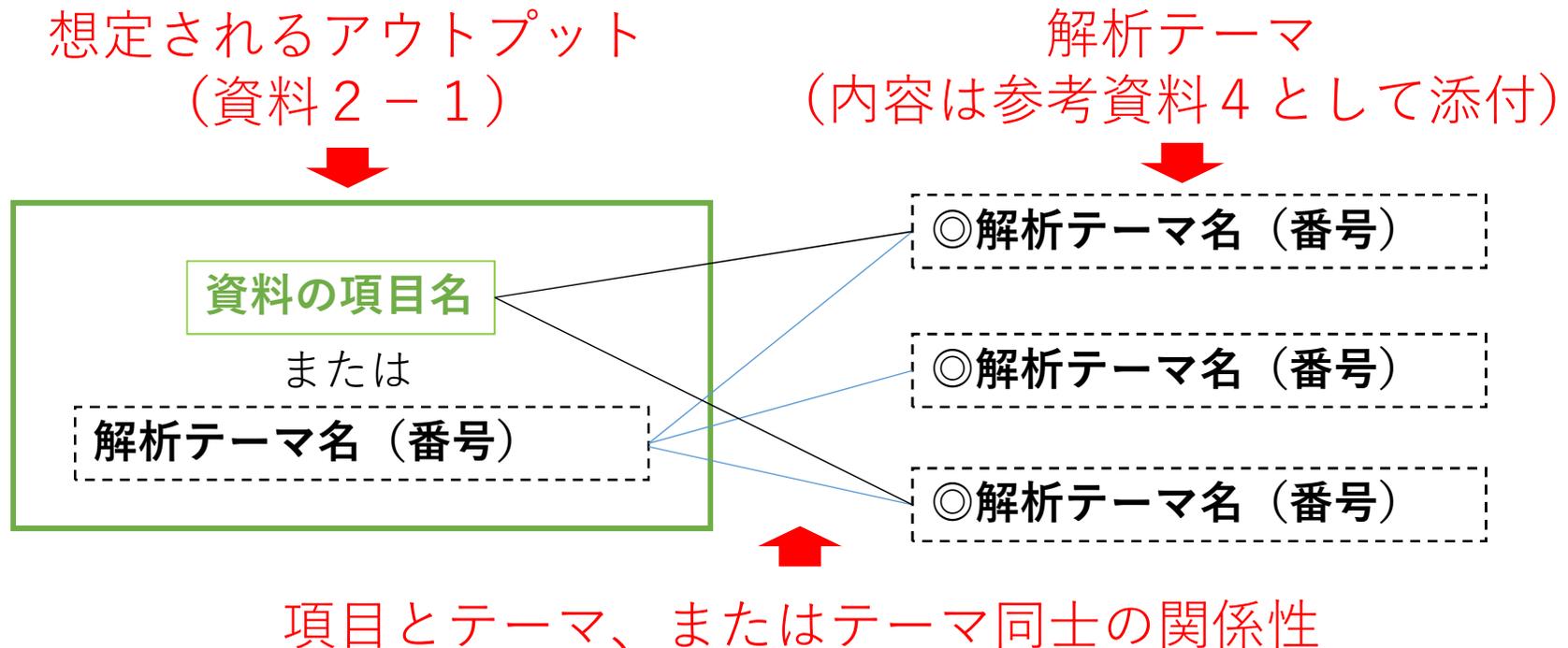


アウトプットを想定した解析テーマの整理



() : 前回部会資料 (付表) のテーマ番号 (参考資料4参照)

◎ : 生物多様性評価地図の更新も含むテーマ

- 前回部会での解析テーマにかかる議論において、下記のような項目について重要なお指摘があった（詳細な内容は参考資料3）。
- これらのご指摘に関連すると思われるテーマは、次頁以降に★印で示すとともに、資料3で予備解析テーマ案として詳細を示した。

項目	ご指摘の内容	関連するテーマ
第2の危機（アンダーユース）	野生動物の分布変化に伴う軋轢・獣害に関するテーマは地方自治体にも研究にも有用、かつ社会的注目も高く重要。	鳥獣害、鳥獣害防止のためのゾーニング等（新規）
都市近郊・保護地域外の連結性・OECM	国立公園外も含めた生態系の連結性が重要。 OECMの設定、それを通じた気候変動適応策や希少種の生息地の確保などの多目的性を示す。 ※「都市の上流部の生態系サービスへの依存状況の可視化」の重要性についてのご指摘もあり。	重要地域の特定（5～7） ホットスポット（8,9） ハビタットの連結性（10） OECM選定・管理のためのデータ提供（新規）
再エネ施設のゾーニング・トレードオフ回避	再生可能エネルギー施設適地と生物多様性保全上重要な地域、絶滅危惧種の分布域の重なりに関する解析、生物多様性に配慮したゾーニングに関するガイドは至急必要。	重要地域の特定（5～7） ホットスポット（8,9） 再エネ適地と重要地域、絶滅危惧種分布（36）

一般向け資料

※ () 内：前回テーマ番号（参考資料4参照）
◎：生物多様性評価地図の更新も含むテーマ

★ 予備解析テーマ候補
(資料3)

①日本の自然の特徴

・陸域・陸水域・海域などの特徴
(重要地域・ホットスポット)

日本の自然環境の特徴 (1~4)

◎重要地域の特定 (5~7) ★

◎生物多様性ホットスポット (8,9) ★

②過去50年間の自然の変化

第1の危機 (開発によるハビタット減少、絶滅危惧種の増加傾向)

第2の危機 (管理放棄によるハビタット減少、里地里山の普通種の減少)

第3の危機 (外来種の増加と在来種への影響)

第4の危機 (気候変動による生態系・種への影響)

◎ハビタットの連結性 (10) ★

◎都市の生物多様性指標 (13)

絶滅リスク評価 (14)

◎都市開発 (16)

観光利用影響 (17)

過剰捕獲・採取 (18)

元・普通種の変化 (15)

放棄農地の拡大 (20)

◎二次的自然の変化 (21)

◎有害鳥獣 (ニホンジカ、イノシシ等) の分布変遷 (新規①) ★

外来生物 (22)

気候変動による種組成等の変化 (23)

◎気候変動による指標種の変化 (24)

③新たな課題

・野生鳥獣との軋轢 (鳥獣害、人獣共通感染症、外来種など)

・OECM

・再エネ推進に伴うトレードオフ

・企業や民間団体の活動状況 など

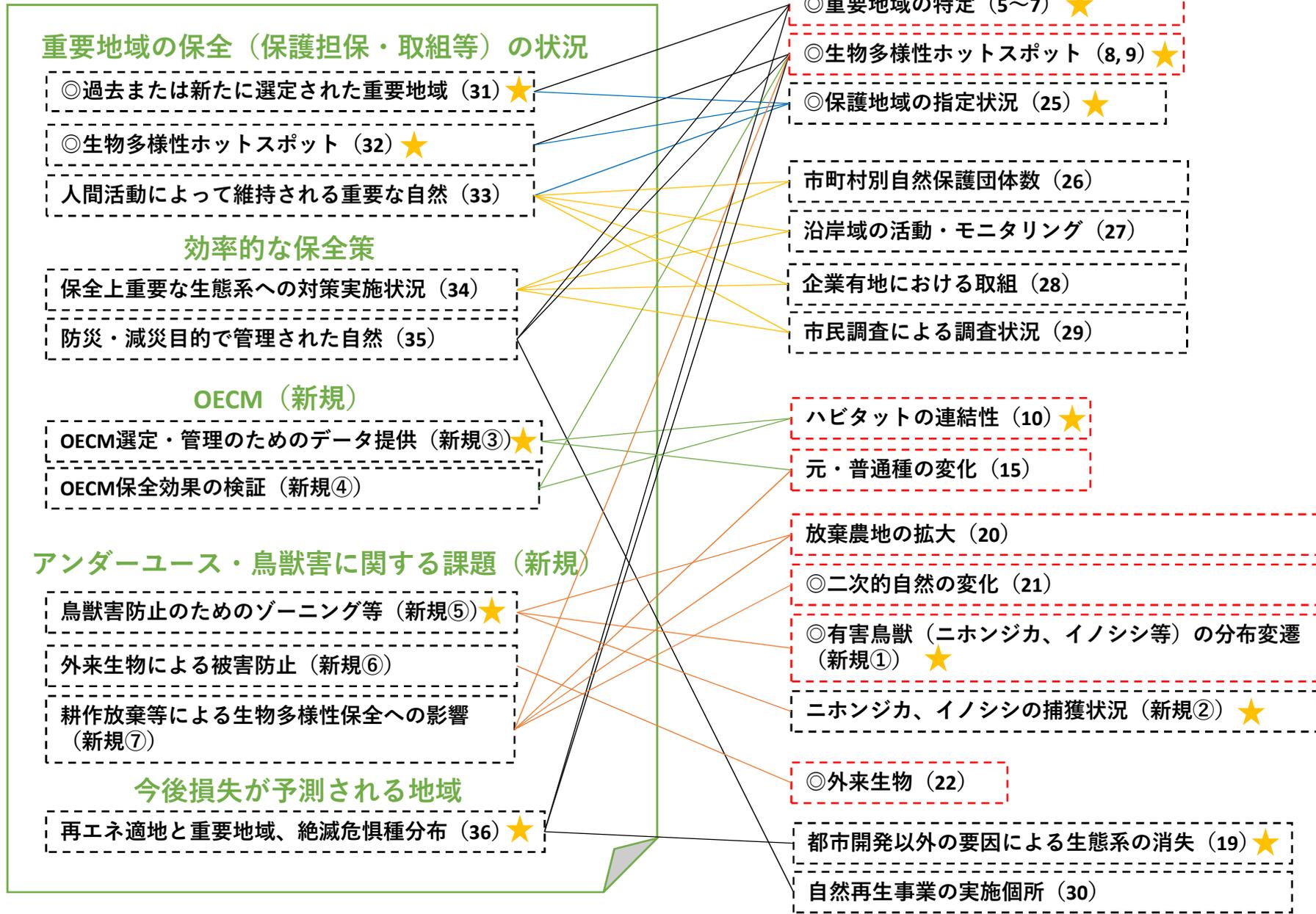
【政策決定者向け資料のテーマ (次頁) からいくつか大事なテーマを選択】

政策決定者向け資料

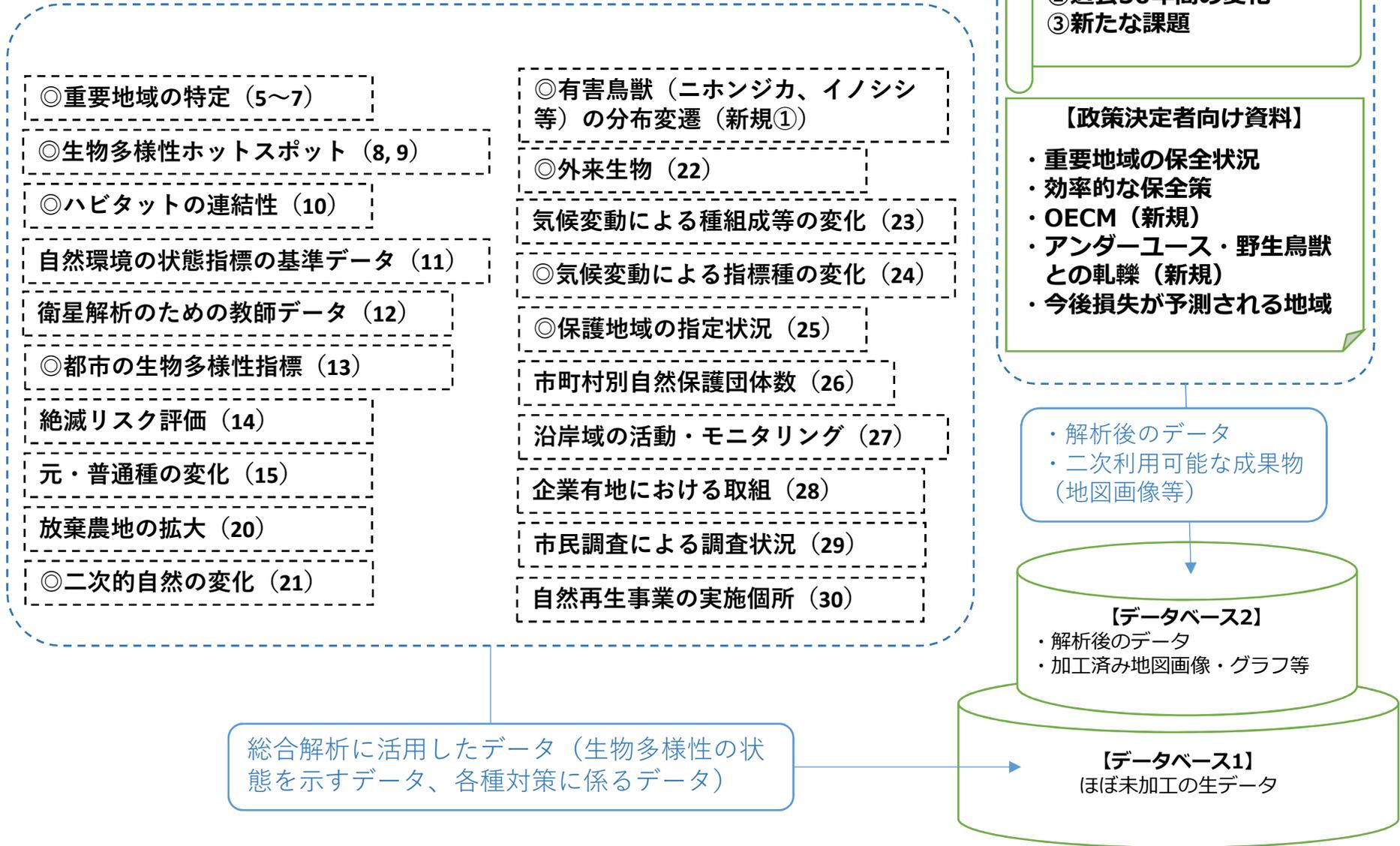
※ () 内：前回テーマ番号 (参考資料4参照)

赤枠：前ページ既出

★：予備解析テーマ候補 (資料3)



データベース



※データ形式等は、計画部会での議論を踏まえ、基礎調査本体で整備するデータベースに準拠